

時間預託活動 (3月度)						
	提供活動	コーディネート	事務所当番	その他	当月計	年度計
時間数	69	0	0	34	104	846
人数	9	0	0	5		

奉仕活動 (3月度)						
	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	0	0	58	0	58	404
人数	0	0	11	0		

読めますか？  
 悄悄 寸々 能々 愈々 総々  
 UN 轟々 悴む 彳亍 迂る 微睡む  
 軽やか 緩やか 和やか 健やか  
 賑やか 聊か 健か 強か  
 艶やか 円やか

## 認知症 (26)



### レビー小体型認知症(4)

【パーキンソン症状】  
 レビー小体型認知症では、筋肉の動かしにくさとそれに基づく動作に鈍さ、小刻み歩行等の運動障害が最初から現れます。総じて表情が乏しくなり、前かがみの姿勢でとぼとぼ歩きます。これらは、パーキンソン病の方によくみられることから、パーキンソン症状と呼ばれています。進行すると転倒事故などの危険性が増加します。

【自律神経障害】  
 自律神経とは、血圧や体温、内臓の働きなどを調整する神経ですが、レビー小体型認知症では、しばしばこの自律神経の障害を伴います。なかでも、起立性低血圧（寝転んでいたり座っている体制からいきなり立ち上がった際に、急に血圧が下がる症状）による立ちくらみや失神、頑固な便秘、尿失禁などがよく見られる症状です。

【睡眠障害】  
 睡眠中のレム睡眠という時に、夢を見ますが、レム睡眠行動障害は、レム睡眠の時に、寝言を言ったり、びっくりするほど大きな声で叫んだりします。また、夜中に十分眠っているはずなのに、昼間何時間も眠ってしまいます。

【転びやすさ】  
 レビー小体型認知症の人は良く転びます。起立性低血圧による立ちくらみや、パーキンソン症状によって足が出にくくなるため転倒が増えます。 出典 池田学著「認知症」中公新書

川柳コーナー  
 \* 入院も出来ない不安コロナ危機 勝弘  
 \* 政治家の眠りを覚ます週刊誌 勝弘

新入会員のご紹介 (4月度)  
 永田三津枝 様 岐阜市六条北  
 神谷穂高 様 松野市開智  
 神谷敦子 様 々  
 どうぞよろしく

## 知識は道具、知恵は人 松下幸之助 一日一話

**知識と知恵。**いかにも同じもののように考えられるかもしれない。けれどもよく考えてみると、この二つは別のものではないかという気がする。  
 つまり、知識というのはある物事について知っているということであるが、知恵というのは何が正しいかを知るといふか、いわゆる是非を判断するものではないかと思う。言いかえれば、かりに知識を道具にたとえるならば、知恵はそれを使う人そのものだと言えよう。お互い、知識を高めると同時に、それを活用する知恵をより一層磨き、高めてゆきたい。そうしてはじめて、真に快適な共同生活を営む道も開けてくるのではないかと思うのである。